



あいさつ運動

みんなで
明るい
まちづくり

笑 顔で元気な美郷っ子を育むため、町では「笑顔 元気 みさとの子 家庭教育10ヶ条」を定めています。その中の第2条にあいさつの推進の項目があります。

あいさつは子どもの人格形成の基礎を築く役割のほか、他者とのコミュニケーションの第一歩となるため、社会でも重要視されています。

みなさんも学校、家庭、地域や職場などで積極的にあいさつ運動を始めてみませんか。

あいさつ運動を推進している、美郷町教育を考える会こころのプロジェクト部の鈴木恒久さん（千畑南小学校校長）にお話を伺いました。

を返してくれれます。学校や家庭だけではなく、あいさつの輪を地域の人にも広げていくことで、町全体が元気で明るくなればと思います。

「美郷町教育を考える会では、子どもたちの心を育てる活動の一つとして、各園・小・中学校で『あいさつ運動』に取り組んでいます。あいさつをして、相手からもあいさつが返って来ると気持ちのいいものです。積極性や自主性など、あいさつは子どもの心を育てる上で大きな役割を担っています。

また、子どもがあいさつをする時、大人もあいさつ



美郷町教育を考える会こころのプロジェクト部の鈴木恒久さん

おは・こん・こん 元気な挨拶がこだます わが家わが地域

（「笑顔 元気 みさとの子 家庭教育10ヶ条」第2条より）

あいさつの効用

- ・家族にあいさつする子は、家族とたくさん会話します。
- ・家族にあいさつする子は、悩みを家族に相談しています。
- ・家族にあいさつする子は、家族からの注意を素直に聞き、納得しようとしています。

※幼少期におけるあいさつは、「自尊感情」と「他者に対する信頼と尊敬の念」を育てることにつながります。

美郷中学校 秋田大学訪問

9月25日に美郷中学校の3年生188名が秋田大学を訪問しました。この取り組みは、大学の講義を体験したり施設見学をすることで、上級学校についての理解を深めてもらおうと行われました。大学では、水環境マイスター養成講座でも講師を務める、同大学工学資源学研究科の網田和宏助教による水に関する模擬授業が行われました。網田助教は、「大学では、教わる勉強ではなく自ら学ぶ勉強が大事になる」とし、水辺環境の維持に関する事例を取り上げ、観光のために手つかずの水辺環境を開発することの是非について生徒に意見を求めました。生徒たちは、どうすれば水辺環境を維持できるかを考え、それぞれ自分なりの答えを出そうと、積極的に学ぶ姿勢を見せていました。



施設見学をする美郷中学生

水のコンサート

10月4日に美郷中学校で秋田大学の大学生による「水のコンサート」が開催されました。このコンサートは町と秋田大学の連携事業の一環として美郷中学校の合唱祭と同日に行われ、全校生徒や保護者、地域住民が同大学教育文化学部音楽教育講座の学生25名の合唱に耳を傾けました。初めに、大学生が滝廉太郎の「花」など水にまつわる曲やメンデルスゾーンの「秋の歌」など4曲を透き通るような歌声で披露。その後は、美郷町民歌や、同大学の四反田素幸教育文化学部長が作曲した美郷中学校校歌を生徒とともに大合唱し、たの が い ひさ かず為我井壽一准教授の指揮のもとエネルギッシュな歌声を会場内に響かせました。



秋田大学生と美郷中学生による大合唱

第1回美郷中学校吹奏楽部 定期演奏会

美郷中学校が誕生して初めての定期演奏会です。当日は、吹奏楽の演奏のほかマーチング演奏も予定していますので、どうぞお気軽にご来場ください。

日時●11月18日(日) 午後1時～

会場●美郷中学校 体育館

それぞれの取り組みの 様子を紹介します

美郷中学校

生活委員や執行委員が中心となり、朝のあいさつ運動を行っています。また、学校統合1年目ということもあり、あいさつを通じて地域の方とのつながりをさらに深めようと、少年保護育成委員の方々と連携したあいさつ運動も行いました。



金沢小学校

家族や地域の方々へ、朝のあいさつがきちんとできたかどうかを登校班ごとに自己評価する「あいさつの実」という取り組みを実施しています。あいさつが元気に上手くできた印である「赤い実」が校内に沢山実るよう、子どもたちも頑張っています。地域の皆さんも、子どもたちを見かけた際にはぜひあいさつを試してみてください。



千畑南小学校

あいさつされたらすぐに元気にあいさつを返すという「あいさつのこだま」の意識を大切にしています。児童の発案で全学年が交代で朝のあいさつをして、登校してくる他の子どもを出迎えています。また、保護者も「あいさつこだま隊員」として、家庭や地域内でのあいさつの促進に協力をしています。

